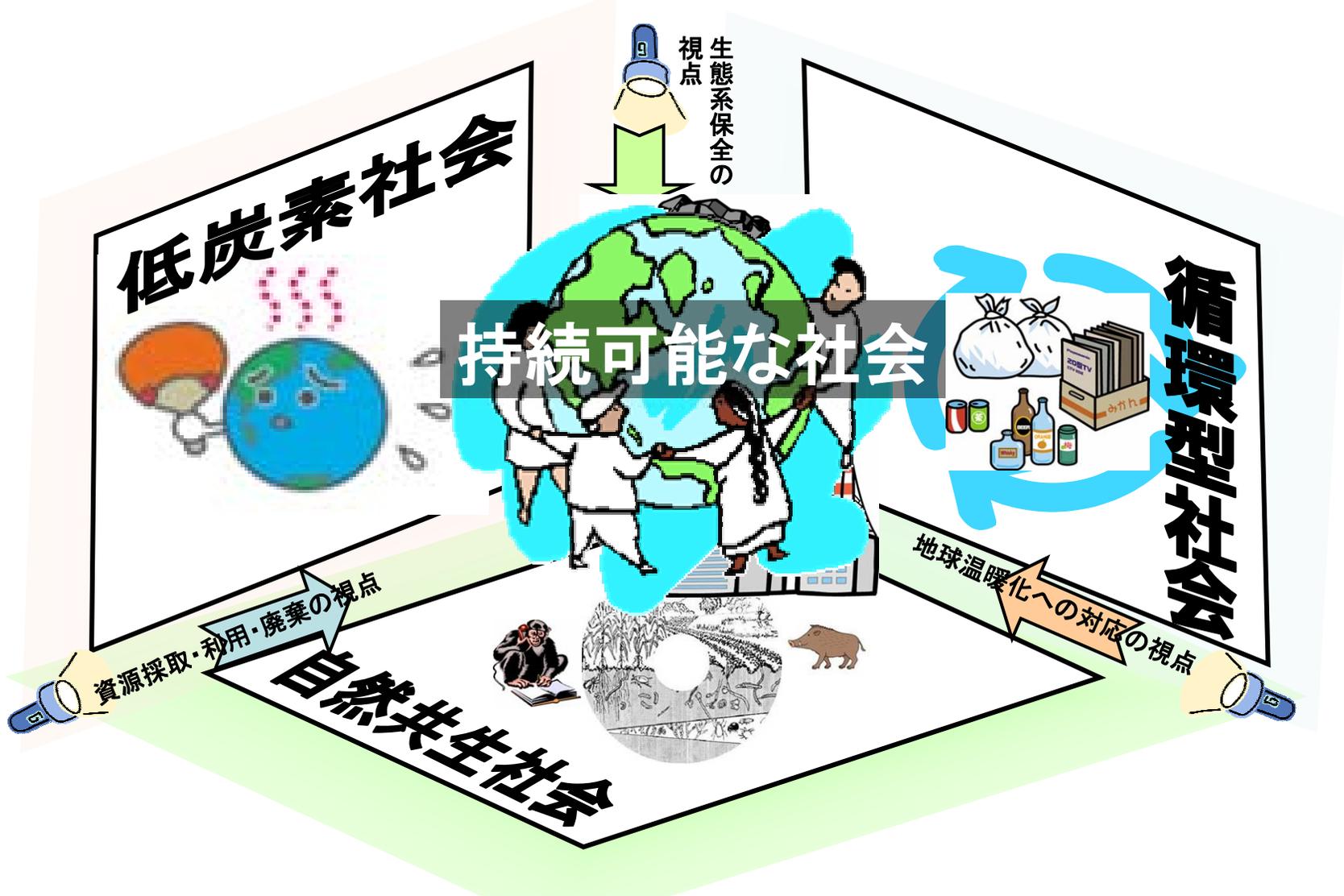


1. 地球環境の現状と課題

・持続可能な社会に向けた取組⑥(統合的取組の展開Ⅱ)



・「環境と開発に関する世界委員会(1987)」報告書「我ら共有の未来」で提唱された「持続可能な社会」の実現に向けた取組は、未だ不十分であり、世界共通の課題。

・「持続可能な社会」の実現には、一人一人の取組の輪を広げ、力強く後押ししていくことが必要。

自然との共生を図る
智慧と伝統

世界最先端の
環境・エネルギー技術

環境立国・日本

日本の「強み」を原動力となし、
幅広い関係者が一致協力して
環境から拓く経済成長・地域活性化を実現

環境保全に携わる
豊富な人材

深刻な公害克服の
経験と智慧

創造・発信

アジアそして世界の発展と繁栄に貢献

・「自然共生の智慧と伝統」を現代に活かすとともに、「世界最先端の環境・エネルギー技術」、「深刻な公害克服の経験と智慧」、意欲と能力溢れる「環境保全に携わる豊富な人材」を、環境から拓く経済成長や地域活性化の原動力となし、世界の発展と繁栄に貢献する品格ある「環境立国」を、「日本モデル」として創造し、アジア、そして世界へと発信

2. 「環境立国・日本」の創造・発信

・「環境立国・日本」に向けた施策の展開方向①

「環境立国・日本」に向けた施策の展開の方向

自然との共生
を図る智慧と
伝統を現代に
活かした
美しい国づくり

車の両輪として
進める環境保
全と経済成長・
地域活性化

アジア、そして
世界とともに
発展する日本

持続可能な社会の「日本モデル」の構築

＜今後1、2年で重点的に着手すべき八つの戦略＞

- 戦略1. 気候変動問題の克服に向けた国際的リーダーシップ
- 戦略2. 生物多様性の保全による自然の恵みの享受と継承
- 戦略3. 3Rを通じた持続可能な資源循環
- 戦略4. 公害克服の経験と智慧を活かした国際貢献
- 戦略5. 環境・エネルギー技術の中核とした経済成長
- 戦略6. 自然の恵みを活かした活力溢れる地域づくり
- 戦略7. 環境を感じ、考え、行動する人づくり
- 戦略8. 環境立国を支える仕組みづくり